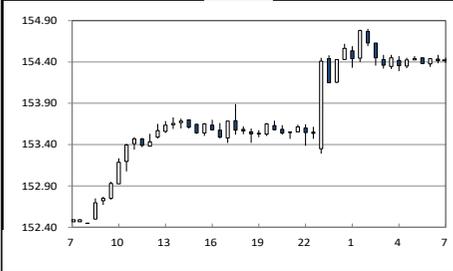


みずほCustomer Desk Report 2025/02/13号(As of 2025/02/12)

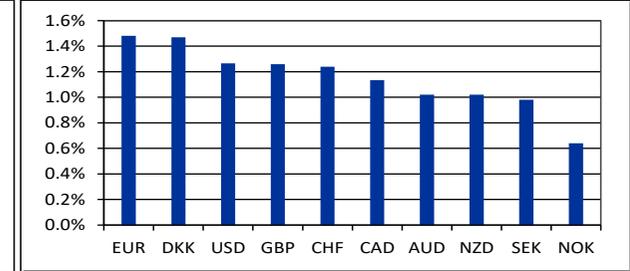
【昨日の市況概要】			公示仲値	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	153.27
TKY 9:00AM	152.75	1.0363	158.32	1.2454
SYD-NY High	154.80	1.0430	160.94	1.2483
SYD-NY Low	152.45	1.0317	158.26	1.2377
NY 5:00 PM	154.43	1.0384	160.38	1.2445
	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	44,368.56	▲ 225.09	日本2年債	0.7900%
NASDAQ	19,649.95	6.09	日本10年債	1.3400%
S&P	6,051.97	▲ 16.53	米国2年債	4.3559%
日経平均	38,963.70	162.53	米国5年債	4.4685%
TOPIX	2,733.33	0.32	米国10年債	4.6249%
ソコ日経先物	39,200.00	100.00	独10年債	2.4780%
ロンドンFT	8,807.44	30.05	英10年債	4.5430%
DAX	22,148.03	110.20	豪10年債	4.4590%
ハンセン指数	21,857.92	563.06	USDJPY 1M Vol	9.80%
上海総合	3,346.39	28.33	USDJPY 3M Vol	9.95%
NY金	2,928.70	▲ 3.90	USDJPY 6M Vol	9.93%
WTI	71.37	▲ 1.95	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.13%
CRB指数	311.58	▲ 1.85	EURJPY 3M Vol	10.46%
ドルインデックス	107.94	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	10.38%

【昨日の指標等】				
Date	Time	Event	結果	予想
2月12日	22:30	米 CPI(前年比)	1月 3.0%	2.9%
【本日の予定】				
Date	Time	Event	予想	前回
2月13日	16:00	独 CPI(前年比)・確報	1月 2.3%	2.3%
	16:00	英 鉱工業生産(前年比)	12月 -2.1%	-1.8%
	16:00	英 製造業生産(前年比)	12月 -1.9%	-1.2%
	16:00	英 GDP(前年比)・速報	4Q 1.1%	0.9%
	16:00	英 個人消費(前期比)・速報	4Q P 0.3%	0.5%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -0.6%	0.2%
	22:30	米 PPI(前年比)	1月 3.3%	3.30%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	8-Feb 216k	219k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.00	1.0300-1.0450	159.50-161.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一時スタート時より2円以上円安に推移。152円台後半で開始した東京時間は午前中を通して上昇を続け、午後は水準を保ったまま153円台後半で海外時間へ。NY時間に入ると米1月CPIが予想対比好調な結果となり、154.80をつけた。買いが一巡後は上げ幅を縮小し154.43でクローズした。米1月CPIの好調な結果を受け、市場が織り込む年内の利下げ回数は1回へ後退。加えてパウエル議長も「当面は抑制的な政策を維持する」と述べるなど、ドル円を下支えする材料となった。一方で対円以外でのドル買いの勢いはドル円の急騰と比べると弱い。この急騰が日銀利上げ観測の高まりで溜まっていた円ロングの巻き戻しと考えると、ドル円の上昇余地は小さいと予想する。

東京	東京時間のドル円は152.75レベルでオープン。仲値にかけては実需勢によるドル買いが優勢。その後前日のパウエルFRB議長による発言を受けた米金利上昇を横目にドル円相場は底堅く推移し、午後には153.73まで上げ幅を拡大。結局、153.65レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	米国時間に発表される1月の米消費者物価指数を控え、市場は閑散とした。ドル円は153.65レベルで始まり、153.39から153.89での小幅レンジ内で取引され、153.55レベルでニューヨークに渡った。ユーロドルは1.0359レベルでオープンし1.0358と1.0386の間で取引され、1.0373レベルでニューヨークへ渡った。尚、12月のイタリヤ鉱工業生産は予想を下回り前月比は-3.1%(予想-0.2%)、前年同期比は-7.1%(予想2.5%)と発表された。市場への影響は限定的であった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台半ばでスタート。アジア株の堅調な展開や、注目の米CPIの結果発表前のポジション調整の動きを背景に、ドル円は底堅く推移し、153.55レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月ヘッドラインとコアCPIが共に予想を上回り、米早期利下げ観測が後退し、米金利の大幅上昇する展開に追従し、154.80まで上伸。午後に発表された米10年債の入札は低調な結果となるも、それ以上の上値追いは限定的。その後買い一巡となり、154.43レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.03台半ばでスタート。注目の米CPIの結果発表を控える中、1.0370付近で様子見姿勢が広がり、1.0373レベルでNYオープン。午前中に発表された予想以上の伸びを見せた米1月CPIの結果を受け、ドル買いが優勢の中、1.0317まで下落。しかし、その後一部で報道された「欧州連合とトランプ政権の主要メンバーが関税問題を巡り電話会談を行った」との速報が伝わり、ドルが売り戻され、1.0430まで反発する神経質な値動き。午後はドル売り一巡となり、1.0380付近まで反落し、1.0384レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。